

令和4年度（2022年度）日本肺高血圧・肺循環学会第4回理事会 議事録

日時：2023年3月31日（金） 19:00-20:50

ZoomによるWeb会議

出席理事：桑名 正隆 福本 義弘 伊藤 浩 江本 憲昭 片岡 雅晴 大郷 剛 小垣 滋豊

近藤 康博 鈴木 拓児 伊達 洋至 田中 住明 田村 雄一 辻野 一三

土井 庄三郎 室原 豊明 安岡 秀剛 渡邊 裕司 （計17名）

第10回学術集会会長：田邊 信宏

出席監事：瀧原 圭子

欠席理事：福田 恵一 安田 聡 荻野 均 山岸 敬幸 （計4名） （敬称略）

事前配布資料

・新評議員審議について

報告事項

1. 会員数の動向について（桑名正隆理事）

2016年から2022年にかけて、右肩上がりに増加し、新規の入会者はここ3年50名以上で、退会される方はごく少数となっている。

今後も引き続き会員数を維持し、できれば評議員の適正な数を含めて、学会運営を検討していきたい。

日本肺高血圧・肺循環学会（2023年3月現在）

資料

会員内訳

	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016
会員（医師）	570	544	496	432	411	357	322
会員（医師以外）	56	52	43	30	25	19	12
休会	10	5	4	5	4	3	—
功労会員	11	—	—	—	—	—	—
在籍合計	647	601	543	467	440	379	334

入会・退会動向

	2022年度			2021年度			2020年度			2019年度			2018年度			2017年度			2016年度
	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規
会員（医師）	65	23	10	55	16	5	75	11	4	35	14	5	62	8	4	42	7	3	322
会員（医師以外）	8	4	0	11	2	0	13	0	0	5	0	0	6	0	0	8	1	0	12
合計	73	27	10	66	18	5	88	11	4	40	14	5	68	8	4	50	8	3	334

2. 会計報告について（福本義弘理事）

2022年3月（中間報告）

収入の部

年会費：5,857,000円

第3回日本肺循環学会・第4回日本肺高血圧学会合同学術集会余剰金：563,561円

第7回学術会議余剰金：2,884,534円

バーナー広告：110,000 円

利息：403 円

支出の部

運営費（会員管理・会費請求業務・書類郵送・運営事務費）：1,550,403 円

会員管理・会費請求業務・書類郵送は事務局とレタープレス者で分担

メール配信・HP 修正（理事長からレタープレス社に配信依頼）：169,640 円

消耗品費：124,944 円

雑費：13,695 円

八巻賞：500,000 円

Jamieson CTEPH award：300,000 円

ガイドライン作成・発送：1,026,278 円

次年度繰越金（故八巻重雄先生ご寄附残額を含む）：53,860,139 円

3. 日本小児肺循環研究会の統合について（土井庄三郎理事）

日本肺高血圧・肺循環学会に日本小児肺循環研究会が統合することにご了承をいただいた。

・2022 年 7 月 3 日 日本肺循環研究会 幹事会にて

今後の方向性に関して、幹事の皆さんと意見交換された。理事 35 名のアンケートで統一開催に賛成 68.6%、合同開催に賛成 22.9%、単独開催結果に賛成 8.6%という結果で、日本肺高血圧・肺循環学会と統一開催と決まった。

・2022 年 8 月 3 日 日本肺高血圧・肺循環学会理事 Web ミーティングにて

土井理事、山岸理事、小垣理事、福本理事、桑名理事、江本理事、渡邊理事が参加した。

日本肺高血圧・肺循環学会に日本小児肺循環研究会が統合すること、小児肺循環研究会の先生には本学会に入会していただき、学術集会の中に小児肺循環に関するプログラムをこれからもご提案していただくということ、江本先生の第 8 回学術集会に、新たに副会長として三谷先生にもご参加をしていただき、小児領域のアクティビティもさらに増していただくということが合意された。

・2022 年 9 月 15 日 小児肺循環研究会 幹事会にて

アンケートの結果の報告、第 8 回学術集会以降は統一開催ということ、小児肺循環研究班としての活動を続けていきたいということをご了承いただいた。

5. 2022 年度第 7 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会終了について（桑名正隆理事）

2022 年 7 月 2 日（土）～3 日（日）

会 長：桑名 正隆（日本医科大学 アレルギー・膠原病内科学分野 教授）

副会長：近藤 康博（公立陶生病院 副院長、呼吸器・アレルギー疾患内科部長）

田村 雄一（国際医療福祉大学医学部 循環器内科 教授/

国際医療福祉大学 三田病院 肺高血圧症センター）

会 場：京王プラザホテル

事務局代表：白井 悠一郎（日本医科大学 アレルギー膠原病内科学分野）
事務局：日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野

536 名が現地でご参加いただいた。

6. 2023 年度第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会準備状況について（江本憲昭理事）

2023 年 6 月 3 日（土）～4 日（日）

会 長：江本 憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学研究室/
神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野）

副会長：田邊 信宏（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター/
千葉大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学）

三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

新家 俊郎（昭和大学 医学部内科学講座 循環器内科学部門）

吉藤 元（京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学）

会 場：神戸国際会議場

事務局：神戸薬科大学 臨床薬学研究室

- ・現地で開催の準備をしている。
- ・最終的には 155 演題集まった。
- ・学会の参加費について、現在は事前登録 12,000 円で予定している。

7. 2024 年度第 9 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会準備状況について（福本義弘理事）

2024 年 6 月 14 日（土）～15 日（日）

会 長：福本 義弘（久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門）

副会長：塩瀬 明（九州大学大学院医学研究院 循環器外科学）

会 場：久留米シティプラザ

事務局：久留米大学医学部 内科学講座

現在は、九州大学の阿部弘太郎先生と片岡理事に中心となっていて、これからプログラム委員会を立ち上げようと準備をしている。

学会運営会社は検討中。

8. 2025 年度第 10 回日本肺高血圧・肺循環学会準備状況について（田邊信宏 年会長）

2025 年 6 月 14 日（土）～15 日（日）

会 長：田邊 信宏（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター）

副会長：田村 雄一（国際医療福祉大学 三田病院 肺高血圧症センター）

会 場：京王プラザホテル（新宿）

事務局：千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

学会運営会社は検討中。

9. PH 診療ガイドランス 2023 の準備状況について（片岡雅晴理事）

昨年 8 月に欧州のガイドラインが 7 年ぶりに改訂となったため、日本の臨床の現場に即したかたちで、日本のガイドラインの在り方について、渡邊理事長、大郷理事、福本理事、安岡理事、山岸理事、本学会のガイドラインで多大なご尽力をされた前理事長の巽先生と共に議論を重ねてきた。その中で PH 診療ガイドランス 2023 という名称で本学会のガイドライン改訂版を年内の原稿完成で来年の春、出版という予定で動いている。

10. 学会各賞の応募状況と今後の選考の進め方について（渡邊裕司理事長）

3 月 31 日に応募締切り

4 月 3 日に各賞担当理事に候補者の応募書類と評価表を事務局より送信する予定。

担当理事は各委員にその内容を転送し、評価を依頼していただき、取りまとめた結果を事務局に 4 月 17 日までに通知していただく予定。

【2023 年度の応募者】

「八巻賞」3 名

「Jamieson CTEPH award」5 名

「学会奨励賞 臨床研究賞」13 名

「学会奨励賞 基礎研究賞」11 名

2023 年度八巻賞選考委員会

委員長：安田 聡

委 員：福本 義弘・杉村 宏一郎・桑名 正隆・荻野 均

2023 年度 Jamieson CTEPH Award 選考委員会

委員長：荻野 均

委 員：江本 憲昭・松原 広己・田邊 信宏

2023 年度学会奨励賞（臨床研究賞）選考委員会

委員長：安岡 秀剛

委 員：片岡 雅晴・平出 貴裕・田中 住明・土橋 浩章・近藤 康博・長岡 鉄太郎

小垣 滋豊・高月 晋一

2023 年度学会奨励賞（基礎研究賞）選考委員会

委員長：山岸 敬幸

委 員：鈴木 拓児・桑名 正隆・江本 憲昭・小垣 滋豊・田中 住明・福田 恵一

室原 豊明・渡邊 裕司

11. ベンティビス販売中止に対する学会の対応について（渡邊裕司理事長）

昨年 10 月フィリップス社とバイエル社から「I-neb AAD ネブライザ取扱い終了のご案内、およびそれに伴うベンティビス吸入液の販売中止のお知らせ」が発出された。

neb AAD ネブライザを用いたベンティビス吸入液は国内唯一のプロスタサイクリン誘導体吸入製剤であり、肺動脈性肺高血圧症治療の重要な治療選択肢であり、突然の販売中止の知らせは、本剤を使用する患者さんを不安に陥れ、また治療に携わる医師を困惑させるものであるということを、フィリップス社とバイエル社に連絡をした。そして患者さんの治療の質を担保するために、供給停止の期限を、代替となるプロスタサイクリン誘導体吸入製剤が使用可能となるまで、としていただくことを要望した。その時点で、持田製薬のトレプロスト吸入液が開発されていて、承認を得る状況に近づいていたということもあった。

2022 年 11 月 14 日 学会より 2 社に要望書を郵送し、日本循環器学会と共同して厚生労働省にも要望書をお送りした。その結果、前向きに対応をしてくださるようになり、ベンティビス既存患者さんをもつ処方医の先生方に薬価基準収載前と薬価基準収載後の 2 種類での適切な情報提供と、患者さんの不安を軽減できるよう患者さん向けお知らせ文章も併せてお渡しし、再度ご説明を行うという知らせを受けている。

審議事項

1. 新規評議員について（渡邊裕司理事長）

新規評議員候補者の審議が行われ、5 名の新評議員が承認された。

1) 東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 教授（付属八王子病院）

村田 光繁

推薦者 片岡 雅晴 理事

2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・循環器内科学 助教

赤木 達

推薦者 伊藤 浩 理事

3) 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 小児科医長（循環器小児科部長）

宗内 淳

推薦者 山岸 敬幸 理事 土井 庄三郎 理事 小垣 滋豊 理事 の共同推薦

4) 九州大学大学院医学研究院循環器外科学 教授

塩瀬 明

推薦者 片岡 雅晴 理事

5) 熊本大学病院 循環器内科 講師

山本 英一郎

推薦者 福本 義弘 理事

その他

- EASOPHについて（瀧原圭子監事）

第3回を7月14日15日に韓国肺高血圧学会と同時開催で韓国仁川での開催を予定されている。

今後のことについては、国際交流担当の大郷先生を中心に6月の理事会の時にディスカッションをしていただきたい。

- 次回理事会・評議員について（渡邊裕司理事長）

理事会：第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会前日

6月2日（金）15:30～16:30 ※受付開始 15:00～

評議員会：第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会内

6月4日（日）8:20～9:00 ※受付開始：8:05～

に開催を予定している。

以上

日本肺高血圧・肺循環学会

理事長

渡邊 裕司

議事署名人（監査）

瀧原 圭子